

2020年度 第1四半期 決算概要

2020年5月8日
サントリー食品インターナショナル株式会社

©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

1

サントリー食品インターナショナル社、三野です。

本日はお忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様と、関係者の皆様にお見舞い申し上げます。並びに、お亡くなりになられた方々に心より、ご冥福をお祈り申し上げます。

また、感染拡大防止に向け努力いただいている皆様、感染者の診断や治療にあたられている医療関係の皆様に、心から敬意を表します。

本日は、現在の状況を踏まえ、当社を取り巻く環境、スタンスに関しまして、まずご説明いたします。

2ページをご覧ください。

- **新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受け、3月以降、事業環境に大きな変化**

- ・お客様の行動の変化
- ・買い場/飲み場の変化
- ・購買商品(嗜好)の変化

©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

2

影響を受け始めた時期は、エリアによって異なるものの、特に3月以降、当社を取り巻く事業環境が大きく変化いたしました。

- ・ スーパーを中心に、備蓄需要が発生。
- ・ 業務店は営業停止もしくは自粛中。テイクアウト・デリバリーが許可されているケースもありますが、業務用チャネルの需要は全体として、大きく減。
- ・ 家庭内消費が増え、スーパーのみならず、Eコマースが伸長。
- ・ 大容量、マルチパック等のまとめ買いがみられ、定番商品を求める傾向が顕著。

結果、1-3月の当社業績にも、影響を与えることとなりました。

3ページをご覧ください。

売上収益	1-3月 前比	3月 前比
日本	△3%	△9%
欧州	△2%	△12%
アジア	△2%	△10%
オセアニア	5%	0%
米州	5%	10%

*海外は為替中立

©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

3

大きな変化点となりました3月単月について、今回は少し詳細にご説明いたします。

日本は売上が9%減少しました。

- チャンネル別では、スーパーは増加しましたが、外出自粛要請の影響を受けたコンビニ、並びに自販機は減少いたしました。

欧州は、売上が12%減。

- 特に、フランス・スペインの業務用が大きく影響を受けました。

アジアは、売上が10%減。

- 特に、タイの飲料事業及び健康食品事業が、市場の低迷並びに、ロックダウンの影響を受け大幅減少。

オセアニアは備蓄需要があったものの、ロックダウンの影響を受け前年並み。米州は備蓄需要により、10%増となりました。

4ページ目をご覧ください。

【継続すること】

- 長期的視点に立った経営
- ブランドへの投資
- 中長期的な構造改革による持続的成長・収益性強化

【事業環境の変化に則した活動】

- 従業員と家族の安心・安全を最優先
- 生産・営業を継続し、ライフラインを決して止めない
- お客様の嗜好・買い場の変化を捉え、チャンスの最大化
- 全てのコスト計画をゼロベースで見直す

このような状況下、当社スタンスをご説明いたします。

長期的な視点に立ち、経営を行っていくことに、変わりはありません。私たちの「ブランド」を磨き上げ、お客様にお届け続ける。そこで働く「人」「チーム」へのサポートを続ける。

その上で、事業環境の変化に即し、活動を進めて参ります。

- 何よりも従業員とその家族の安心・安全を最優先。
- 感染拡大防止のための、各国行政からの要請・指示に対応。
- 社会的責任を果たすため、生産を継続し、お客様・お得意先様に商品をお届けし続ける。
- お客様の行動・嗜好の変化をとらえ、メリハリをつけながらも、ブランド投資を継続し、買い場の変化に迅速に対応。
- コスト・ゼロベースの見直し。

他方、各国におけるロックダウン、日本の外出・営業自粛要請により、第2四半期以降、業績への影響は避けられないとみています。

第3四半期以降、事業環境が回復する可能性もあるとみておりますが、先行きが読めない状況です。こうした状況を考慮し、2020年度年間の業績見通しを、現時点で見直すタイミングではない、と判断をしました。

今後、ロックダウン・外出・営業自粛要請のタイミング等を見計らい、状況が見据えられるようになった時点で、改めてご説明いたします。

5ページ目をご覧ください。



©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

5

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、社会への貢献活動を続けていきます。

世界各地において医療機関への物資の提供、地域社会への飲料・食料の提供、業務店様への支援等を実施しております。

また、サントリーグループとして、日本、米国、欧州において、医療機関向け消毒用アルコールの提供を開始しました。

これからも、飲料メーカーとして、まずは皆様の生活に必要なとされる飲料をお届けすること、さらにはその国の状況に応じた支援を続けてまいります。

6ページをご覧ください。

	2019年 1-3月実績	2020年 1-3月実績	対前年			
			増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立
売上収益	2,857 億円	2,772 億円	△85	△48	△3.0%	△1.7%
営業利益	178 億円	198 億円	+21	+23	+11.6%	+13.2%
既存事業ベース* 営業利益	180 億円	201 億円	+20	+23	+11.3%	+13.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	107 億円	127 億円	+20	+22	+18.8%	+20.5%

*「その他の収益」「その他の費用」のうち非経常的な要因により発生した要素を除いた値

©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

それでは、2020年度第1四半期の業績結果をご報告いたします。

- 売上収益は2,772億円、為替中立で1.7%減となりました。レポーティングベースでは3.0%減となります。
- 既存事業ベース営業利益は、為替中立で13.0%増の201億円。レポーティングベースでは11.3%増となりました。
- 非経常的な要因も含めて計算した営業利益は、為替中立で13.2%増の198億円。レポーティングベースでは11.6%増。
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は127億円、為替中立で20.5%増、レポーティングベースでは18.8%増になりました。

7ページをご覧ください。

	売上収益	対前年				セグメント利益	対前年			
		増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立		増減(億円)	為替中立	増減率	為替中立
日本	1,468 億円	△39	-	△2.6%	-	71 億円	+6	-	+9.4%	-
欧州	440	△28	△9	△5.9%	△2.1%	48	+7	+8	+17.2%	+21.5%
既存事業ベース							+6	+7	+13.7%	+17.9%
アジア	551	△19	△14	△3.4%	△2.4%	78	+7	+7	+9.7%	+10.5%
既存事業ベース							+7	+7	+9.7%	+10.5%
オセアニア	124	△5	+6	△3.9%	+5.0%	14	+1	+1	+3.8%	+9.4%
米州	190	+7	+9	+3.7%	+5.0%	15	△0	+0	△1.0%	+0.2%
調整額						△27	+0	+0		
連結	2,772	△85	△48	△3.0%	△1.7%	198	+21	+23	+11.6%	+13.2%
既存事業ベース						201	+20	+23	+11.3%	+13.0%

©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

7

セグメント別の業績です。以降、為替中立でご説明申し上げます。

- 売上収益は、日本、欧州、アジアで前年を下回り、全体で減収となりました。
- セグメント利益は、全リージョンで増益となり、全社で2ケタの増益率となりました。

次ページより、セグメント毎にご説明します。

8ページをご覧ください。

売上収益

増減率

セグメント利益

増減率

1,468 億円 △2.6%

71 億円 +9.4%

- 3月以降 外出自粛要請の影響を受け、販売数量は累計△2%。
- 特に自販機チャネルの販売数量が大きく減少。
- 大容量値上げ効果、コスト削減活動、加えて、販促広告費の投入時期の第2四半期へのシフトも寄与し、利益は対前年で増加。



©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

8

日本です。

- 市場全体の販売数量は、3月からの外出自粛要請の影響をうけ、1-3月で2%減少したと想定されます。
- 当社も販売数量が2%減となり、市場並みとなりました。

売上収益は、

- コンビニ・自販機チャネルを中心に、販売数量減となりましたが、
- 伊右衛門プラス「おいしい糖質対策」の新発売もあり、トクホ・機能性の販売トレンドは維持、
- 大容量ペット商品の値上げ効果も継続し、2.6%減の1,468億円となりました。

利益は、

- コスト改善活動に加え、販促広告費投入タイミングを、第2四半期以降にシフトした結果、9.4%の増益となりました。

4月以降、

- 備蓄需要が一巡していることに加え、コンビニ・自販機は外出自粛要請の影響を強く受け、トレンドはさらに厳しくなっております。

他方、

- 「サントリー天然水」、「GREEN DA・KA・RA」、「新・伊右衛門」など、戦略カテゴリーにおけるブランドは堅調に推移、
- Eコマースチャネルは二桁以上の伸びを示しています。

9ページをご覧ください。

売上収益

440 億円

増減率

△5.9%

為替中立

セグメント利益

48 億円

増減率

+17.2%

為替中立

売上収益

増減率

為替中立

フランス
(*1)

186 億円

△7.1%

△3.2%

ロックダウンに伴い、業務用市場が悪化「Orangina」
「Oasis」の販売減等で減収。英国
(*2)

133 億円

△1.3%

+1.8%

スーパーが備蓄需要により伸長、為替中立で増収。

スペイン
(*3)

75 億円

△15.4%

△11.8%

ロックダウン影響を受け、業務用市場が
急激に悪化し減収。

(*1) フランス、ベルギー (*2) 英国、アイルランド (*3) スペイン、ポルトガル



©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

9

欧州です。

売上収益は、

- 英国が増収となったものの、フランス・スペインにおいて業務用市場が低迷し、1-3月で2.1%の減収となりました。

セグメント利益は、

- マーケティング費用の効率化、原材料市況の改善により、21.5%の増益となりました。

フランスは、

- 3月以降業務用市場が悪化、主力の「Orangina」及び「Oasis」が前年を下回り、3.2%の減収。

英国は、

- 一時的な備蓄需要により「Lucozade Energy」が伸長し、1.8%の増収。

スペインは、

- 業務用市場が大きく悪化、11.8%の減収となりました。

4月以降、

- 日本同様、備蓄需要は一巡、業務用市場はさらに厳しい状況が続いております。
- 他方、家庭内需要により、英国を除く欧州全域で「Schweppes」ブランドが、英国では「Ribena」の濃縮タイプが堅調です。

10ページをご覧ください。

売上収益

551 億円

増減率

△3.4%

為替中立

△2.4%

セグメント利益

78 億円

増減率

+9.7%

為替中立

+10.5%

	売上	増減率	為替中立	
飲料 (ベトナム)	208億円	+0.2%	+2.4%	「Aquafina」、茶飲料「TEA+」が下支え。
飲料 (タイ)	160億円	△1.0%	△0.7%	3月以降、ロックダウンの影響をうけ、 主力ブランドが減速。
健康食品	121億円	△9.5%	△9.8%	「Bird's Nest」が、中国からの観光客 減少の影響を大きく受けた。



©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

10

アジアです。

- 売上収益は、ロックダウンの影響を早くから受け始め、1-3月では2.4%の減収、
- 原材料市況の改善、マーケティング費の投入時期見直しにより、セグメント利益は、10.5%の増益となりました。

ベトナム飲料事業は、

- 段階的にロックダウンの制限が厳しくなっていく中、「Aquafina」と「Tea+」が下支えし、1-3月では2.4%の増収となりました。

タイ飲料事業は、

- 昨年度末より経済が低迷し始めていたことに加え、中国からの観光客減、3月末からのロックダウンにより、0.7%の減収となりました。

健康食品事業は、

- 主力の「Essence of Chicken」が全体的に堅調だったものの、
- 中国観光客の購買に牽引されていた「Bird's Nest」が、タイにおいて大きく減少し、9.8%の減収となりました。

4月以降、

- ベトナムは、全国的にロックダウンを実施。直近緩和されつつあるも、人通りの大幅な減により、主力Traditional Channelの厳しさが継続。
- タイは、4月に予定されていた旧正月にあたるソンクランが中止になるなど、市場回復にさらに時間がかかると想定しています。

他方、

- ベトナム、タイ飲料事業は、主要カテゴリーにおいてマーケットシェアを伸ばしており、
- 「Essence of Chicken」は、免疫系商品が好まれるというトレンドにより、堅調に推移することを想定しています。

11ページをご覧ください。

オセアニア

売上収益

124 億円 $\Delta 3.9\%$ +5.0%

増減率 為替中立

セグメント利益

14 億円 +3.8% +9.4%

増減率 為替中立

売上

増減率 為替中立

フルコアサントリー 94 億円 $\Delta 4.7\%$ +3.9%フレッシュコーヒー事業 29 億円 $\Delta 2.6\%$ +6.8%

米州

売上収益

190 億円 +3.7% +5.0%

増減率 為替中立

セグメント利益

15 億円 $\Delta 1.0\%$ +0.2%

増減率 為替中立

最後に、オセアニアと米州です。

オセアニアは、

- フルコアサントリー、フレッシュコーヒー事業ともに、1-3月は増収、セグメント利益も、9.4%の増益となりました。
- ニュージーランドにおいて、ロックダウンが緩和されつつあるなど、業務店・コンビニの販売トレンドは少しずつ改善傾向にあります。

米州・PBV社は、

- 備蓄需要により1-3月で増収、セグメント利益も、0.2%の増益となりました。
- 4月以降、業務店・コンビニの販売トレンドは、厳しい状況が続いていますが、家庭内消費需要は、引き続き堅調に推移しております。

12ページをご覧ください。

SUNTORY

SUNTORY BEVERAGE & FOOD

©2020 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

12

以上、第1四半期の業績をご報告しました。

財務状況につきましては、

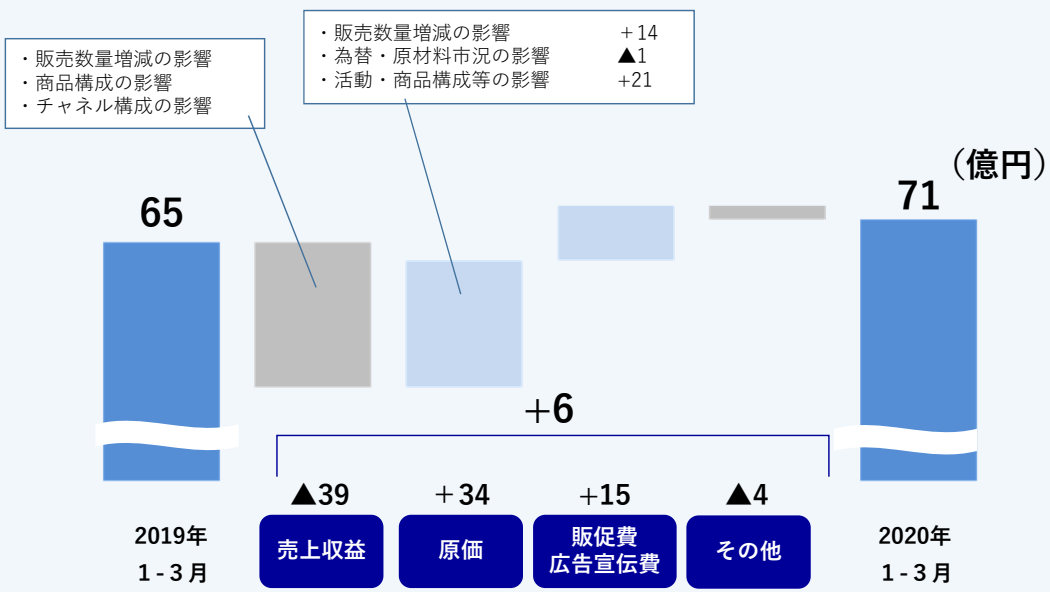
- ネットデットは継続的に低減する等、バランスシートの健全性は強化されています。コミットメントライン等も十分に確保しており、事業継続上のキャッシュ手元流動性に問題ありません。
- また、必要な投資は継続しますが、不要不急の支出をゼロベースで見直し、キャッシュフローマネジメントを強化していくことは、冒頭にお話をした通りです。
- 加えて、当社の中長期的な配当方針に変更はございません。

他方、

- 4月以降、事業の厳しさは継続すると想定しています。状況を注視し、改めて、事業の影響等についてご説明をいたします。
- 当社においては、長期的な視点にたった経営スタンスを変えることなく、持続的な成長の実現に向けて、事業を推進する一方、
- お客様の嗜好、買い場のシフトに対し、速やかに変化対応を行ってまいります。

繰り返しになりますが、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまと、関係者の皆様にお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。また感染拡大防止に向け努力されている皆様、感染者の診断や治療にあたられている医療関係の皆様に、心からの敬意を表します。

私からは以上です。



■ 主要ブランド販売数量

日本

(単位：百万C/S)

	2019年第1四半期		2020年第1四半期	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減
サントリー天然水	23.1	4%	24.7	7%
BOSS	25.6	6%	24.8	△3%
伊右衛門	11.7	△2%	10.5	△11%
サントリー烏龍茶	5.3	△5%	4.9	△8%
PEPSI	4.0	△2%	3.8	△5%
グリーンダカラ	5.9	20%	6.7	13%
特定保健用食品 および 機能性表示食品 計	4.9	△5%	5.1	3%
日本事業 販売数量 合計	95.4	2%	93.1	△2%

※出荷ベース

※上記数字には (株)ジャパンビバレッジホールディングス等による
他社仕入分の販売数量は含まれていません。

欧州

(単位：百万L)

	2019年第1四半期		2020年第1四半期	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減
オレンジーナ (フランス)	35	6%	33	△4%
オアシス (フランス)	61	△2%	58	△4%
シュウェップス (スペイン、ポルトガル)	24	△2%	23	△5%
ルコゼード (英国、アイルランド)	90	14%	91	1%
ライビーナ (英国、アイルランド)	21	△11%	17	△17%

(円、期中平均)

	2019年 1-3月実績	2020年 1-3月実績	2020年 年間予想
米ドル	110.2	108.9	109
ユーロ	125.2	120.1	122
英ポンド	143.7	139.3	143
シンガポールドル	81.4	78.6	81
タイバーツ	3.5	3.5	3.6
ベトナムドン	0.0048	0.0047	0.0047
ニュージーランドドル	75.1	69.1	73
豪ドル	78.5	71.6	76

本資料は情報提供のために作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

本資料には、当社又は当社グループの今後の業績等に関連して将来に関する記述を含んでおります。将来に関する記述は、現在入手可能な情報を踏まえて、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等は、これらの種々の要素によって変動するため、本書作成時点と異なる可能性もあります。

当社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。